

第二回 長崎大学グローバルヘルスフォーラム

（同時開催）第一回 もっとよくわかるSDGs講座
（長崎大学卓越大学院プログラム）



International collaboration for global health; A Nagasaki University - LSHTM initiative

2019.6.10 月

13:00 ~ 17:30
(受付 12:00 ~)

言語
日本語
英語の同時通訳あり

プログラム

開会挨拶

河野 茂 長崎大学長

来賓挨拶

駐日英国大使館
文部科学省
その他

第2部

基調講演

LONDON
SCHOOL of
HYGIENE
& TROPICAL
MEDICINE



ピーター・ピオット

ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 学長



ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院学長。研究分野は疫学、微生物学、公衆衛生学、政策分析、政治学等、多岐にわたる。Ghet 大学医学部卒業後、アントワープ大学大学院で微生物学分野での PhD を取得。アントワープ大学熱帯医学研究所では特にサハラ以南の女性の健康や HIV/AIDS をはじめとする STDs 等の研究に貢献すると同時に 1976 年にコンゴ民主共和国におけるエボラウイルスの共同発見者としても有名。SCOR や UNAIDS など英国内外の多様な組織での要職を歴任し、また、ベルギーのパロンの称号をはじめ、野口英世アフリカ賞等の多数の賞を授与されている。

第1部

講演

趣旨説明

有吉 紅也

長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授
卓越大学院プログラムコーディネーター

講演

井上 肇

国立国際医療研究センター国際医療協力局長

池上 清子

熱帯医学・グローバルヘルス研究科 教授

ダン・ドック・アイン

ベトナム国立衛生疫学研究所 (NIHE) 所長

児玉 知子

国立保健医療科学院 国際協力研究部 上席研究官

企業から

アカデミアとの連携について

GHIT Fund
Global Health Innovative Technology Fund

大浦 佳世理

GHIT Fund CEO 兼専務理事



公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) CEO 兼専務理事。日米の Bristol-Myers Squibb (BMS) において、研究開発やコマーシャルオペレーション部門の要職を歴任。また、同社の女性推進グローバルイニシアチブである BMS Network of Women (B-NOW) を主導。デンバー大学 (化学・数学・経営学) を卒業後、テンプル大学薬学部 (薬事・品質保証) で修士号を取得、カペラ大学にて博士号課程単位 (プロジェクトマネジメント) を取得。プロジェクト・マネジメント・プロフェッショナル (PMP) の資格を保有。

会場

東京都千代田区麹町 1-6-4
住友不動産半蔵門駅前ビル 2F

ベルサール半蔵門

<アクセス>

[半蔵門線] 半蔵門駅: 3 番出口直結

[有楽町線] 麹町駅: 3 番出口徒歩 6 分

[JR 線・丸の内線・南北線] 四ツ谷駅: 麹町口徒歩 14 分

閉会挨拶

北 潔 長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科長 / 卓越大学院プログラム責任者

第3部

企業によるブース展示

参加登録はこちら

登録締め切り

2019.6.5 水



先着 200 名

(※定員に満たなかった場合は当日参加可)

【登録フォーム URL】 <https://forms.gle/rBb8S1d9dofF8KZY6>